

HOKUBU・INFORMATION

たんぽぽ



発行 北部地域振興課
住所 〒720-1132
福山市駅家町倉光37-1
電話 (084) 976-9460
E-mail : hokubu- chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



講座のおしらせ

キッズサマーチャレンジ

参加費無料

北部地域振興課
人権・社会教育活動事業



自然を感じてみよう
天空のふるさと広瀬の夜空

星空ウォッチング

日時：8月29日(金) 19:00~20:30
※天候不良の場合は8月30日(土)に順延
場所：福山市グラウンド・ゴルフ場
(福山市加茂町北山176-5)

望遠鏡で月のクレーターや土星の環(わ)をみてみよう!

- ★定員：70人☆申込みが定員を超えた場合は抽選となります
※申込みが必要です
- ★申込期間：8月15日(金)~8月18日(月)

申込みはこちらから



抽選日：8月19日(火)
当選通知：8月20日(水)

※当選の方のみ当選結果をお知らせします。
落選された方にはご連絡いたしませんので、
あらかじめご了承ください。

※参加は必ず保護者同伴でお願いします。

- ★実施・中止は8月29日16時頃に北部地域振興課のホームページに掲載しますので確認してください。
- ★必要に応じて、飲み物・虫よけを各自持参してください。
- ★天候によっては、十分観察できない場合もありますのでご理解ください。
- ★会場内はヒールのある靴では入場できません。スニーカーなどかかとのない靴でお越しください。

《主催・問合せ先》福山市北部地域振興課(駅家町倉光37-1 北部支所内)
TEL 084-976-9460

平和について考えてみませんか

講座のおしらせ

参加費無料

北部地域振興課

人権・社会教育活動事業

キッズサマーチャレンジ



【絵本から平和を考えよう!!】



【北部地域振興課・北部図書館・新市図書館共催】

① 8月6日（水）10:30～11:30
新市支所3階

（福山市新市町新市 1061-1）

② 8月8日（金）10:30～11:30
北部図書館（集会室）

（福山市駅家町近田 60-1）

内容：絵本の読み聞かせとDVD上映



* 図書館職員による絵本の読み聞かせ

* DVD『しんちゃんのさんりんしゃ』

◆ 定員：①②ともに20人



8月6日は広島に原爆が投下された日、8日は福山空襲、9日は長崎に原爆が投下された日で、私たちにとって忘れてはならない日です。福山空襲でも多くの方が亡くなり、傷ついたり、家を焼かれたりしました。

戦争は絶対にしてはならないことを絵本やDVDを通して感じるとともに、改めて平和の大切さについて考える内容です。

主催・問合せ先 福山市北部地域振興課（駅家町倉光37-1 北部支所内）Tel 084-976-9460

パネル展示「福山空襲」

福山市街地への空襲は、1945年8月8日、午後10時25分頃から約1時間、B-29爆撃機91機によっておこなわれました。

空襲によって福山市街地は壊滅的な被害を受けました。

その当時の様子を写真や地図、絵などで紹介します。

と き 7月23日（水）～7月30日（水）

ところ 北部市民センター 1階市民サロン（福山市駅家町倉光37-1）

主 催 福山市北部地域振興課



“1945年8月8日の「福山空襲」を心にとめ、平和の大切さについて考えます。”

2025 市民平和のつどい・第71回市民平和大会

日 時 : 8月8日(金) 13時~16時

場 所 : まなびの館ローズコム

(福山市霞町一丁目10番1号)

内 容 : ■オープニング
ひとりー羽披露
平和非核都市福山宣言
紙芝居「母と子の八月八日」読み語り&歌
■平和の思いを紡ぐメッセージの発信(動画)
児童、生徒の学習発表
語り部による戦争体験談
■絵本の読み聞かせ
■映画上映
■体験コーナー: 平和カルタ、ジャンボ折り鶴

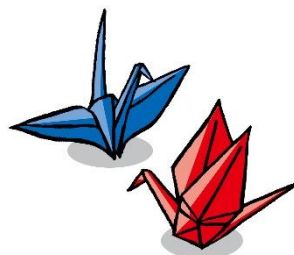
その他 : スタンプラリー、まちパス対象事業(18歳未満のこどものみ)

入場料 : 無料

問合せ : 福山市多様性社会推進課(☎084-928-1235)

今年も「参加型」で実施!
「発表の場」であり、「学びの場」

思いを伝え、みんなの気持ちがつ
ながっていきますように・・・



福山空襲の記憶を
映像で保存します

ご寄附を募集しています

戦後80年の今年、福山市では福山空襲の体験談を映像に保存する事業を実施します。

この事業を実現するため、クラウドファンディングでご寄附を募っています。いただいたご寄附は、ふるさと納税として扱われるため税控除の対象となります(手続等を必ずご確認ください)。

皆さまのご支援が次世代への平和のバトンとなります。ぜひともご協力ください。

専用サイトはこちらから→
(ふるさとチョイス)



<問合せ> 多様性社会推進課(9/13まで受付)

電話: 084-928-1235

◆◆◆◆◆ 平和アピール展 ◆◆◆◆◆

園児、児童、生徒及び市民のみなさまが、平和の願いをこめて制作した
「折り鶴」「ポスター」「絵画」などの作品を展示します。

と き 8月1日(金)~8月18日(月)

※最終日は15時まで

ところ 北部市民センター 1階市民サロン

(福山市駅家町倉光37-1)



7月12日（土）、講師に^{ひろなか まさき}廣中 正樹さん（公益財団法人 広島平和文化センター 被爆体験証言者）をお招きし「被爆体験 父子の別れ」と題し、お話をいただきました。

廣中さんは、5歳10ヶ月の時、爆心地より3.5km離れた己斐町の小川の中で被爆しました。はじめは何が起こったのかわからずにいました。そこらじゅうにガラスや瓦が飛び散り大変なヤケドを負った人たちが重たそうに足を引きずりながら歩いており、体を前かがみにして、両手を少し前に出し、両手の皮膚が糸くずのように垂れ下がっている光景を目の当たりにしました。そこで初めて大変なことが起きたのだと感じました。



母と妹と家に帰ると、背中にガラスがたくさん刺さり、全身にヤケドを負った父がいました。とても苦しそうでした。父は原爆ドームに近い場所を通っていた電車の中で被爆したようでした。翌日、父はどんどん弱っていき、そのまま亡くなりました。悲しくて悲しくて涙が止まりませんでした。父と別れることがこんなに辛く苦しいものかと感じました。

私は5歳にして人間の生き地獄を見ました。大切な人を失うという言葉に言い尽くせない苦しみ悲しみを感じました。核兵器と私たちは決して共存はできません。人の心の中に平和の砦をつくりましょう。そのためには、①二度と戦争を繰り返さないようにしてください。②核兵器をつくらない。使用しない、させない。③平和と命の尊さを知って、命を大切にしてください。④全世界の人々と話し合い、平和な社会を築いてください。と結ばれました。

ー 参加者から寄せられた思い ー

- ・今まで聞いた中で、最も心に響いたお話でした。今後もこどもたち、おとなたちにお話をしていただきたいです。
- ・想像できないほどのつらい体験を涙ながらに語ってくださって、胸が締め付けられました。改めて戦争の悲惨さを知り、また考える機会となりました。つらいお話もたくさんでしたが、家族の大切さ、これからの自分の人生のお話なども聞かせて頂けたこと、とてもよかったと思います。ありがとうございました。これからもお元気で語り継いでいただき、伝承者の方が次々と増え伝承されていくことを願います。
- ・悲惨な体験談をお聞きする貴重な時間となり、繰り返されている世界に改めて腹立たしい思いです。高齢になられているからこそそのつないでいくことへの熱量が伝わりました。地元で伝えていきたいと思います。

わたぼうし

～ 語り継ぐ ～

廣中さん（人権問題講演会講師）の当時の記憶は今でも鮮明で、思い浮かべて話をしていると今でも涙が出て悲しくなるそうです。それゆえに人前で自身の体験を語ることがなかなかできなかったそうです。多くの当事者の方がそうだと思います。しかし自分の願いをみんなに受け継いでもらいたいとの思いで、頭の中に記憶している悲しみや怒りを絵や文章に残し、語っておられます。

「想像してみてください」と繰り返し、講演の中でおっしゃられました。この言葉の重みを受け止めなければなりません。戦争を経験していない私たちは、想像力を働かせ、当事者の思いに少しでも寄り添い、語り継いでいく責任があります。平和を守り続けていくために。